

秋冬ネギ栽培における 混合堆肥複合肥料(品名:エコレット 055) の施用効果

平成 24 年に公定規格が新設された混合堆肥複合肥料は、肥料の一部に堆肥が使用され、有機物による土づくりと国内原料活用による施肥コスト低減を両立できる肥料として普及が始まっています。宮城県農業・園芸総合研究所では、混合堆肥複合肥料のその一つである「エコレット 055」(朝日工業株式会社)を秋冬ネギの栽培に使用し、追肥回数を節減した体系でも慣行肥料と同等の収量・品質が得られることを確認しましたので、その概要を紹介します。

☆ 技術の概要

1. エコレット 055 施用後の窒素供給経過を見ると、施肥後 2 週間で 78%、施肥後 80 日で 95% とやや緩効的なパターンを示します。
2. ネギ秋冬どり作型において、緩効的な肥効を活かし、追肥回数を慣行の 4 回から 2 回に節減した施肥体系で慣行区と同等以上の可販収量が確保できます(表 1)。

表 1 ネギ収穫時の生育および収量

年次	試験区	草丈 (cm)	茎葉部全重 (t/10a)	可販収量 ¹⁾ (t/10a)	調製重 (g/株)	葉鞘長 (cm)	葉鞘径 (mm)
平成30年	エコレット区	83.5	8.39	5.09	139.2	34.3	19.7
	慣行区	86.5	7.44	4.49	126.3	33.3	18.4
令和元年	エコレット区	71.5	4.74	3.08	92.3	28.6	16.2
	慣行区	71.9	4.95	3.13	93.8	28.9	16.9

注1)可販収量は、葉鞘長25cm以上、葉鞘径10mm以上の収量。

☆ 活用面での留意点

1. エコレット 055 は、原料の 50%に豚ふん堆肥を使用し、堆肥を数種の化学肥料と混合造粒して製造された肥料で、保証成分は窒素 10%、リン酸 5%、カリ 5%の低 P K 型肥料です。
2. 本栽培試験の実施ほ場は、土壌タイプが細粒ばん土質褐色森林土、主な化学性はリン酸吸収係数 1180mg/100g、可給態リン酸 41mg/100g、交換性カリ 71mg/100g でした。
3. この土壌条件において、エコレット区のネギのリン酸・カリ濃度は慣行区と同等であることから、施用前に土壌分析を行い、土壌中のリン酸とカリが上記の値以上であることを確認する必要があります。
4. 10a 当たりの施肥コストは、慣行区の 25,000 円に対してエコレット区が 22,500 円と試算され、約 1 割のコスト低減が期待できます。
5. 詳しいことは、宮城県農業・園芸総合研究所 園芸環境部 (TEL:022-383-8133) までお問い合わせください。

(日本政策金融公庫農林水産事業本部 テクニカルアドバイザー 吉岡 宏)